

使っていかたいな
仕込んでくれればよかつたの

主人様たちみたいなの
たつたらいくらでも

こせてあげただけけど」

「やあね」

R18

たら



「ふふっ

こんなところまで
ホントにルデイそっくり」

「粗^{ルデイ}チンもせっかくなら
ご主人様に使っていただけ
メスの方を仕込んでくれればよかったのに」

「二人がご主人様たちみたい
デカチンだったらいくらでも
おまんこさせてあげただけ」

「コ・レ・じ・や・あ・ね」

「恨むんだったら
ルデイを恨んでね」

「自ママ……」

「なにを……するの?」

「二人には貞操帯をつけるんだ
可哀想だけど……ううん
粗チンに可哀想もないか」

「粗チンの劣等遺伝子を
この世に残さないために必要だからね」

「ルデイもおんなじのを
つけてるんだよ」

「情けないよね
一週間くらい焦らしただけで
息子に貞操帯つけるのに
同意するんだもん」

「でも最後に
一発だけ出させてあげる」

「可哀想だからとかじゃやないよ

二人はこれから一生

この快感を知った上で

二度と味わえずに

生きていかなきゃいけない」

「粗チンに生まれついた

罪に対する罰だからね」

「二人もご主人様たちに

調教されてスケベになった

私の身体で

お父さん譲りの粗チンを

カチカチにしてるみたいだし」

「ほら………ジロ………ジロ………ジロ………ジロ………
「♥」

「なあに？」

もしかしてもう……」

「あっ ああっ……」

「でちやっ……」

なにかでちやうっ！」

「あーあ勿体ない
人生最初で最後の
射精だったのに」

「気持ちよかった？」

（二人が虚ろに頷く）

「ふふっ……♥
ならよかった」

「ああそうだ

このことは

ルーシーたちにはナイショだよ

あの子たちは

もうちよつと熟れてから

召し上がっていたんだから」

「ふふっ

こんなところまで
ホントにルデイそっくり」

「粗^{ルデイ}チンもせっかくなら
ご主人様に使っていただけ
メスの方を仕込んでくれればよかったのに」

「二人がご主人様たちみたい
デカチンだったらいくらでも
おまんこさせてあげただけ」

「コ・レ・じ・や・あ・ね」

「恨むんだったら
ルデイを恨んでね」

「自ママ……」

「なにを……するの?」

「二人には貞操帯をつけるんだ
可哀想だけど……ううん
粗チンに可哀想もないか」

「粗チンの劣等遺伝子を
この世に残さないために必要だからね」

「ルデイもおんなじのを
つけてるんだよ」

「情けないよね
一週間くらい焦らしただけで
息子に貞操帯つけるのに
同意するんだもん」

「でも最後に
一発だけ出させてあげる」

「可哀想だからとかじゃやないよ

二人はこれから一生

この快感を知った上で

二度と味わえずに

生きていかなきゃいけない」

「粗チンに生まれついた

罪に対する罰だからね」

「二人もご主人様たちに

調教されてスケベになった

私の身体で

お父さん譲りの粗チンを

カチカチにしてるみたいだし」

「ほら………ジロ………ジロ………ジロ………
「♥」

「なあに？
もしかしてもう……」

「あっ ああっ……」

「でちやっ……」

「なにかでちやうっ！」

「あーあ勿体ない
人生最初で最後の
射精だったのに」

「気持ちよかった？」

（二人が虚ろに頷く）

「ふふっ……♥
ならよかった」

「ああそうだ
このことは
ルーシーたちにはナイシヨだよ
あの子たちは
もうちよつと熟れてから
召し上がっていただくんだから」























